

ショッピングセンター等を活かした多世代型の居場所づくりから学ぶ、 地元企業など地域内プレイヤーと行政の共創プロセス

近年、コミュニティの希薄化など社会課題が深刻化する中で、持続的な地域づくりと諸課題の解決を図る基盤として、誰もが安心して参加できる「居場所」の確保の必要性がますます高まっています。

こうした取り組みは、NPO、行政、企業といったセクター多様なセクターの連携が不可欠ですが、それぞれの立場には次のような課題があります。

- 企業：地元の自治体の取組みには賛同するが参画のメリットをイメージできない、地域に支店はあるものの、取り組みたい社会課題関係の地元でのネットワークが弱い
- NPO等：どうすれば自治体や企業との連携の幅を広げていけるのか分からない。
- 自治体：地元企業や地域組織が主体的に地域づくりを進めていくための基盤づくりの手法が分からない。

今回は、愛知県高浜市役所共生推進グループと、市民共同で居場所づくりを進める実行委員会の委員長で、地域でショッピングセンターを運営している株式会社ティ・エス・シーの社員でもある尾関様をお招きします。そして、高齢者の居場所の取組を拡大させ、属性を問わず誰もが気軽に訪れることのできる居場所づくり（まぜこぜの居場所づくり）を進めてきた経験や、地元企業や地域組織で構成される「実行委員会」など、行政と地域内プレイヤーがどのようなプロセスを経て共創に至ったのかについてお話を伺います。

その上で、様々なセクターからご参加の皆様で直面する壁や背景にある事情、乗り越えるアイデアを話し合い、マルチセクターによる共創を成功させるヒントを学びます。

【特にこんな方におすすめ】

- ・企業の方：地域の他のプレイヤーと連携を深め、地域の一員として地域活性化を進めていきたい。
- ・NPO等の方：自治体や企業とより広く連携して、地域課題解決の活動を拡大・深化させていきたい。
- ・自治体の方：より多様なプレイヤー課題解決等の活動に参画していただけるような地域づくりを実現したい。

実施日時

2025年12月17日（水）
15：00～17：00

会場

官民共創HUB 会議室
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目1-3 磯村ビル3階
東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 徒歩1分

当日スケジュール

- 15:00-15:10 イベント趣旨とグラドルールの説明
- 15:10-16:05 事例紹介・質疑
テーマ 「多世代型の居場所（まぜこぜの居場所）づくりの体験談（仮）」
スピーカー 愛知県高浜市役所共生推進グループ、株式会社ティ・エス・シー
- 16:05-16:45 グループワーク
※セクターが混ざったメンバー構成で、連携時の具体的な壁の乗り越え方を議論します
- 16:45-17:00 全体への共有・まとめ

お申込みはこちらから ※お申込み締切：12月10日（水）

以下の Google フォーム、または右記QRコードよりお申込みください。
<https://forms.gle/dyi2YEJtx4zPso4S8>



- ※こちらのフォームを送信していただいても、予約確定ではございません。
- ※セクター間の人数バランスを考慮の上、席を確保できた時点で予約確定メールを送信させていただきます。
- ※グループワーク等を通じた実践的な学びを深めていただくため、参加は原則現地参加とさせていただきます。
- ※オンライン参加をご希望の場合は、下記問い合わせ先にご相談ください。
- ※本イベントの趣旨に鑑み、主催者と同業の企業様のご参加はご遠慮いただいております。
- ※チャタムハウスルール（発言者や内容について外部に非公開とする）を厳守のうえ、ご参加ください

お問い合わせ先：

一般社団法人官民共創HUB 川島（kawashima.k@chuo-nittochi.co.jp）

株式会社千正組 横山（yokoyama@senshogumi.co.jp）小柳（koyanagi@senshogumi.co.jp）

